



老人クラブの  
応援マーク

## 東日本大震災 交流と支援の輪が続いています

各地から被災地のクラブを訪ねて交流したり、被災地を訪ねることが支援につながる。と会議や研修を被災地で開催する動き、支援品をおくる動きが続いています。その一端を紹介しします。

### 仙台市老連との交流研修会

● 京都府老連若手委員会・女性委員会  
会 ↓ 仙台市老連

京都府老連では、元気袋の縁でつ



ながった仙台市老連を11月1日に訪問して交流研修会を実施しました。京都府からは今井芳男副会長を団長に、若手委員、女性委員等15名が参加、仙台市からは午前は橋本典子会長はじめ被災地リーダー等6名が参加しました。

仙台市老連の取り組みと被災地である若林区、同六郷地区各リーダーからの話、意見交換のあと、府老連から応援旗（写真参照）をはじめ、女性会員手作りの品、愛唱歌集、水の球根等を贈りました。

午後からは若林区の日辺仮設住宅（にっぺ）にて11名の単位クラブ役員と懇談。参加者は「一歩一歩復興に進んでいる様子がわかり、また元気袋や応援メッセージに元気づけられたと伺って、真心が通じたとうれしく思った」といいます。さらに青葉区内で山津波のあった折立地区では、老人クラ

ブが地域に貢献した話を伺いました。府老連側参加者からの感想を抜粋して紹介します。

「現地の方たちはいきいきされていて、激励に行ったはずが逆に元気をいただきました。中略）でもどうにもならない現実には押し潰されそうです。せめて元気な間に何かさせていだきたい。老人クラブの会員で本当に良かった」

● 新潟県老連・市町村老連女性代表者研修会（34名） ↓ 福島県老連

福島県老連からは16名が参加して、小グループに分かれて情報交換を行いました。

● 東京都中央区高齢者クラブ連合会役員研修会（80名） ↓ 福島県

被災地旅行の東京都助成金を福島県老連に寄贈。県老連では「仮設住宅での寺子屋（世代交流）」においてクリスマスプレゼントとして活用しました。

● 千葉県老連 ↓ 仙台市老連

「児童合唱団のCD『勇氣と希望を歌にたくして』鎮魂と祈りを込めて」を仙台市老連へ寄贈